

定 期 船 課

【総括】

鳥羽市コミュニティ交通システムの確立を目指し、市内5路線でコミュニティバス（かもめバス）の運行を行いました。

本年度は乗車人員217,131人を輸送し、運賃収入は45,906,185円となりました。前年度対比で見ると、乗車人員は13,889人の減少で6.0%減、運賃収入は2,635,751円の減少で5.4%減となりました。

全路線で乗車人員は減少傾向にあるものの、定期券や回数券は前年に近い水準の売上となりました。また、乗継割引券は、バスの乗り方教室等でのPRを積み重ねた結果、前年の5,870枚を大幅に上回る8,808枚の利用がありました。

【新たに実施した事業】

4月1日より、自動車運転免許証自主返納者支援制度を実施し、運転免許証自主返納者39名に6ヶ月間のかもめバス無料利用券を交付しました。また、制度の促進と利便性を図るため、鳥羽警察署前バス停を新設しました。

地域公共交通網形成計画に基づく事業としては、「公共交通の利用促進について考える懇談会」を年3回開催し、各種企画切符に関する協議及び作成した切符の販売を行うことにより、かもめバスの利用促進に努めました。

【予算執行を伴わない事業】

神島でバス乗り方教室を開催し、回数券や定期船乗継割引券等の割引制度についてPRを行うことで、定期船と併せたかもめバスの利用を促進しました。

(款) 2 総務費

(項) 1 総務管理費

(目) 16 交通事業費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
85,521	84,603	210			211	72	84,110

事業区分	1 地域交通事業	84,603 千円	事項別明細書 P 70 ~
地域交通事業		予算現額	85,521 千円
		決算額	84,603 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	3-3【生活環境】鳥羽の風土にあった暮らしを広げよう	(前年度決算額)	82,354 千円
<p>地域公共交通の活性化を図るため、国の補助制度である地域公共交通確保維持改善事業費補助金を活用してかもめバスを運行しました。4月1日からの自動車運転免許証自主返納者支援制度の実施に伴い、制度利用者の利便性を高めるため、鳥羽警察署前バス停を新設したほか、かねてから要望のあった安楽島苑団地前バス停を次年度に新設するための準備を行いました。</p> <p>また、公共交通の利用にかかる多様なニーズに対応するため、利用者代表、学識経験者、事業者等で組織する「鳥羽市地域公共交通会議」を年3回開催し、昨年度に策定した「鳥羽市地域公共交通網形成計画」に基づく事業について、事業内容や今後の展開について協議しました。実施事業としては、「公共交通の利用促進について考える懇談会」を年3回開催し、各種企画切符に関する協議及び作成した切符の販売を行うことにより、かもめバスの利用促進に努めました。</p>			

地域交通事業

○主な経費

多国語版公共交通時刻表印刷業務等	421千円
かもめバス時刻表印刷代	158千円
鳥羽市交通案内システムサーバー・端末更新業務委託料	1,080千円
鳥羽市営路線バス運行委託料	81,199千円
鳥羽市営路線バス開設業務委託料	861千円
鳥羽市地域公共交通会議補助金	265千円

○主な財源

離島活性化交付金	210千円
観光振興基金繰入金	211千円
かもめバス広告掲載料(2件)	72千円

※地域公共交通確保維持改善事業費補助金については、5,317千円が運行委託事業者である三重交通(株)に直接補助されることから、運行経費から補助金と運賃収入等を差し引いた額を委託料としています。

かもめバス利用状況

区分	平成30年度	平成29年度	前年度対比
乗車人員(人)	217,131	231,020	94.0%
運賃収入(円)	45,906,185	48,541,936	94.6%